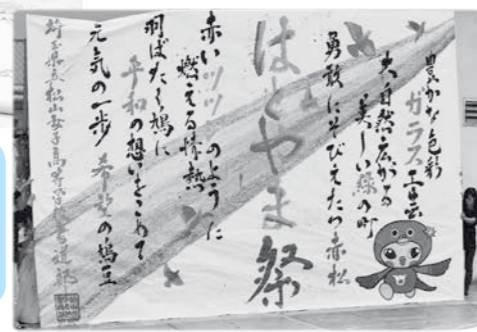




新たな企画でさらに 盛大なお祭りへ進化

多くの人でにぎわう「第35回はとやま祭」では、模擬店などでのふれあい（写真①）や、大人気の「烈車戦隊トッキュウジャー」ショー（②）、スーパーカーの展示（③）、ゆるキャラと1月に行われるチャリティープロレスの告知で訪れたプロレスラーの諏訪魔さんら（④）、県立松山女子高等学校書道部「書道ガールズ」による書道パフォーマンス（⑤）などが来場者の笑顔を生みました。



「書道ガールズ」が、はとやま祭のために、特別作品を披露してくれたよ♪

芸術・文化を通じて交流

第39回中央文化祭・第19回鳩山陶芸展 も同時開催

11月1日～3日、町中央公民館および町文化会館ホワイエで行われた「第39回中央文化祭」「第19回鳩山陶芸展」でも、さまざまな団体・個人の作品が、多くの人を楽しませました。

会場では、作品の出来栄えに来場者から感嘆の声が上がるなど、同伴者と感動を分かち合う姿も多く見られました。



特集

秋のすまいる ドコロ巡り

広報マン
レポート
年末拡大版

多くの人でにぎわった「第35回はとやま祭」



地域を明るく笑顔にする交流の場

32年前の町制施行より前に始まった「はとやま祭」は、商工祭、農業祭、米の消費拡大が3つの柱でした。そして何より、お祭り特有の楽しさと、会場でのふれあいや交流が大きな魅力でした。長い期間を経ても、その魅力が色あせることはありません。さらに、今年は「書道ガールズ」によるパフォーマンスや、スーパーカーの展示など新たな企画も行われ、より盛大なお祭りとなりました。近隣でもさまざまなイベントが行われたこの日、他のイベントから移動してきた方は、「鳩山町のにぎわいはすごい」と話していました。その分、笑顔の数も多く感じられました。



すまいる
ドコロ
はとやま祭
in 中央公民館北側駐車場

鳩山のきらめく 笑顔を追って

秋、町内では「はとやま祭」をはじめとして、多くの人でふれあい、交流を深めるさまざまな催しが目白押しでした。会場では、自然にたくさん人のきらめく笑顔が生まれていました。

今月号では、秋に行われた催しの一部と、会場で出会った多くの笑顔の中から厳選した「すまいる賞」をご紹介します。

町内には、笑顔になれる場所が、まだまだきっとあるはずです。皆さんもぜひ「すまいるドコロ」を探しにいきませんか。



◀餅つきを楽しんだ後は、その餅がおいしい「きなこ餅」に▼



「いも煮」◀心温まる手作りの

農産物の恵みに こぼれる笑顔

食への恵みに感謝し、農作物への関心を高めてもらうと、11月15日、農村公園で開催された「第16回いも煮会」でも、たくさんの笑顔が見られました。多くの方が地元産野菜の入ったいも煮など、秋の実りを堪能すると、思わず「おいしい」とにっこり。

参加者は、体験農園で無農薬・無化学肥料栽培されたサトイモやニンジンなどを使いたいも煮や、同園産のもち米を使い、この子どもたちが

すまいる



いも煮会

in 農村公園

スタッフと一緒に作った餅を味わいました。また、おいしい匂いに誘われて会場に現れた町イメーτζキヤラクターの「はーとん」と一緒に、新鮮な野菜やもち米を景品にした。○×クイズも楽しみました。「つきたてのお餅は柔らかくておいしかった」「野菜をおいしくたくさん食べられた」「こういうイベントがあると楽しい」「来年もまた来たい」と語る参加者は、もちろん笑顔でした。

「いも煮会」でのすまいる賞

すまいるドコロ

すまいる



ふれあい広場

in 中央公民館



「ふれあい広場」では、踊りや手話による歌、童謡や吹奏楽、さらには全盲の奏者である踊正太郎さんによる津軽三味線などのステージが行われました。また、模擬店や車いす体験、アニマルセラピー、コマ回しや将棋などを通じて、多くの方々が交流しました。

◀会場では、みんなで折り紙を楽しむ姿も

さまざまな立場の方が笑顔で交流

世代や立場を超えた交流の場である「第19回ふれあい広場」が、11月16日、町中央公民館で開催されました。「ふれあい広場」は、子どもからお年寄り、障がいのあるなしに関わらず、さまざまな立場にある方々が集まり、催しや体験を通じて交流を深める場です。

会場では、ステージ発表や模擬店、車いす体験コーナーなど、さまざまな催しが行われました。ホワイエでは、子どもと高齢者がコマ回しを楽しむ場面も。「童心に返って夢中になる」という声とともに、屈託のない笑顔があふれていました。

手話による歌のステージ発表では、来場者が手話の説明を受けました。その後、会場

「ふれあい広場」でのすまいる賞

が一体となって、「ふるさとは今もかわらず」を合唱し、新たな交流が生まれていました。

また、当日は、町の福祉に貢献した方々への表彰式も行われ、町社会福祉協議会宮崎稔会長から、受賞者へ表彰状が手渡されました。町の笑顔はこうした方々をはじめ、多くの方々の力によって支えられていることを改めて実感しました。



来場者も交え、手話で合唱

“筋トレ仲間”と介護予防音楽に合わせて、皆さんと一緒に無理なく筋力トレーニングを行っています。トレーニング後は、心地よい疲れを感じ、気持ちよく帰れます。指導員の学生とのふれあいもあり、毎週来るのが楽しみな場所です。



広報マンのピックアップドコロ

AAA トレーニング教室

in 多世代活動交流センター

笑顔が続けていくために

「無理をしないで、やってみよう」多世代活動交流センターの健康づくりトレーニング室では、指導員のおかげで、声とともに、マシントレーニングや踏み台運動に励む音がにぎやかに響いています。

今年で7年目となるAAAトレーニング教室は、町保健センターと大東文化大学が協働で行う介護予防事業です。10〜12月にかけて、主に足腰の筋力を強化し、転びにくい体づくりを目指します。要介護状態のひとりである寝たきりは、転倒がきっかけとなる場合が多いからだそうです。

健康な体を維持することは、本人はもちろん、家族や周りの方にとっても、笑顔が続いていくことになりま

すまいるコラム

笑う角には福来る?



多くの人は、「幸せの因果関係」を、うれしいこと・楽しいことが起こったから（原因）、幸せを感じる（結果）と考えています。しかし、実は世の中は、私たちが幸せを感じ、感謝するから（原因）、うれしいことや、幸せを実感すること、感謝することが起こる（結果）、というようにできているそうです。

そして、人は笑顔を作ると、そのときの筋肉の状態から、「この表情を作っているときはいかにうれしかった」と脳が判断するため、脳内では実際にうれしいと感じる反応を示す実験結果もあるそうです。

幸せになるために、あなたもまずは意識して笑うことから始めてみませんか。

※参考文献：原田衛星著「神様に会える鏡」（文芸社）



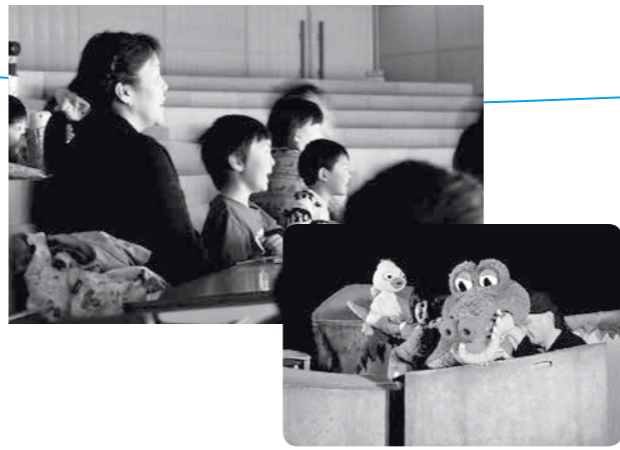
あなたもすまいるの環を広げてみませんか

笑顔は循環する、ということをお話しました。笑顔の循環は、立場や世代を超えて行われるサイクルのため、多くの人が、笑顔の「発信源」になれば、きっとまちはもっと明るく、元気になるはずです。あなたが笑顔になれる場所、すまいるドコロは、今、どこらにあるでしょうか。すでにお持ちの方は、その笑顔をもっと輝くものにするために、より一層、笑顔の現場を楽しみ、さらに笑顔の環を広げていただきたいと思っています。まだ「すまいるドコロ」をお持ちでない方、さらに見つけた方は、ぜひこれから探しにいきたいと思います。あなたが笑えばうれしくなる人が、このまちはたくさんいます。あなたがこれまで目を向けていなかった所に、笑顔を増やすきっかけがあるかもしれません。今後「広報はとやま」では、あなたの「すまいるドコロ」探しをお手伝いできるよう、さまざまな情報をお届けしていきます。ぜひ、笑顔の循環に、皆さんも加わってみませんか。

笑顔でまちを元気に

笑顔の循環力

人形劇団ブークによる人形劇を楽しむ親子。演者が巧みに操る人形の動きに、見る人はひきつけられていました。



人形劇 in 山村学園短期大学

ミニチュアホースとのふれあい in 町立鳩山幼稚園 の現場から

ここまで紹介してきた笑顔の現場には、笑顔の人の周りに、笑顔が広がる状況が多く見受けられました。また、その笑顔の基点となるのが、子どもの笑顔であることも多かったです。

笑顔から、新たな笑顔が生まれる、笑顔でいることで、笑顔が自分に返ってくる。特集の最後は、そうした笑顔の「循環力」に触れてみたいと思います。

子どもと過ごしている子ど、笑顔になりやすい、というお話を聞きます。子どもと行動をとるとすると、普段自分だけでは経験できないこと、大人だけでは行きにくい場所に行ける、ということも関係しているからかもしれません。

11月8日、山村学園短期大学で行われた人形劇でも、お子さん連れの方がたくさんいました。「大人でも十分楽しめました。来て良かったので

す」と笑顔で語る保護者の声も多かったです。笑顔になれるきっかけを、子どもが作ってくれるのです。

もちろん、子どもの純粋で、自然なかわいい笑顔を見ると、こちらも思わず笑顔になる、ということもあるでしょう。

11月12日に町立鳩山幼稚園で行われた「ミニチュアホースとのふれあい」での出来事です。珍しい動物を見てはしゃぐ子どもたちの姿に、ミ

子どもの笑顔は大人の笑顔から

人は、誰かが喜ぶ姿や心から笑っている姿を見ると、自分も楽しい気分になります。楽しくなると、自分が笑うと、ますます周りに笑顔が広がります。周りの笑顔を見て、さらに楽しくなる…。笑顔にはそうした「循環力」があるように思います。

子どもの笑顔は周囲を幸せにしますが、子どもは、

ミニチュアホースを連れてきた岸田さんや、幼稚園の先生、保護者も、それを見て楽しそうな笑顔が浮かべていました。

誰から笑顔を学ぶのでしょうか。多くは周りの大人たちからではないでしょうか。私たちの笑顔が、世代を超えて戻ってくるのかもしれない。



ミニチュアホースとふれあう園児（町立鳩山幼稚園にて）

「ミニチュアホースとのふれあい」でのすまいる賞